

奨励賞

社会に対する視野と将来への
目標を持たせる
「金銭（マネー）教育」

奈良県・奈良市立三笠中学校

生駒 好明

1. はじめに

近年、カード破産や振り込め詐欺などの金銭トラブルが社会的問題となっている。

人間が考え出した「お金」については誰もが知っているモノであり、誰もが使う便利なモノである。これまでは各家庭で親が子どもたちにその使い方や大切さを教えたり、しつけをしてきたのであるが、経済活動が高度に発展を続ける現代社会においてはその仕組みや状況がますます複雑化し、家庭教育だけでは補いきれない部分も数多く出てきている。

一般社会でも一定の職に就かないフリーターやニートの増加が大きな社会問題となっている。このような状況の一因として、自らの将来への不安やあきらめが感じられる。

こうした大きく変化する社会情勢の中で、様々な金銭トラブルから子どもたちを守り、多様な分野の社会人と交流をもつことで、学校だけでは得られない社会に対する視野を生徒に提供し「生きる力」を育成し、自らの進路を考え将来への目標を持つことで学習への意欲付けの機会とする。

近府県（奈良県内、大阪府など）でファイナンシャルプランナー（FP）として活動されている方々を講師として迎え、2年生の総合的な学習の時間のうち9時間を使い、「金銭（マネー）教育」をとり入れた。

2. 現状と方向性

中学校においても、インターネットや携帯電話の普及が進み、実際のお金を使わず物を購入することができ、詐欺やトラブルに巻き込まれることも増えてきている。生徒は、働いて所得を得ているわけではなく、お金を得る「しんどさ」や「難しさ」を理解しているわけではない。しかし、価値をしっかりと分かっていなくても、身の回りには刺激的で楽しい情報があふれ、しかも安易に消費する仕組みができあがっている。どの生徒も豊かな将来への設計ができる力の育成を目指し、学校・家庭・地域社会が一体となって、生徒たちを育てる教育の仕組みを構築することが急務になっている。進歩した金融や経済をどのように学び、向き合い、生きていくかを中学校の段階から学ぶことは必要不可欠であると考える。

しかし、「金銭（マネー）教育」は学校教育の中ではあまり扱われてこなかった内容であり、学校の教育課程の中に位置づけられていなかった。教科や学級会活動の授業中で進歩的な実践が行われても、1人の指導者の指導と考えられ、継続化・一般化がなされてこなかった。

その中で、「金銭（マネー）教育」を総合的な学習の時間の中に位置づけ、系統的・継続的な取り組みとして行っていく必要があると感じた。

私たち教師は教育のプロではあるが、現在の進歩した金融や経済に関する知識は充分であるとは言えない。そこで、3年前（平成16年度）より金融・お金のプロであるファイナンシャルプランナーと協力して「金銭（マネー）教育」を実践してきた。

3. 実践にむけて

本内容は、2年生の総合的な学習の時間の中に1年間を通して木曜日の6時間目に計9時間を位置づけて行った内容である。

この実践を行うにあたって、大切にすることは次の2点である。

1つは、総合的な学習の時間に各クラス単位で実施し、年間を通して行うことである。本校では、2年生に7クラスあり1クラスにつき1～2人の講師が専任の担当としてつき、担任の教師とともに授業を行うこととした。これまでの外部講師を招いての講座では、「学年一斉講義」であったり、すべてお任せする「講演形式」であることが多かった。「金銭(マネー)教育」の内容を考えると生徒一人一人の反応や気質、学力を判断して指導する必要があると感じた。

ただ、これを実行するためには大きな問題点があった。まず、外部講師としてきていただけるファイナンシャルプランナーの方の確保であった。ファイナンシャルプランナーの方はすべて各分野で職業をもっておられ、「金銭(マネー)教育」講座を実施するにあたっては、有休なり仕事を休んできていただかねばならなかった。また、講師同士の打ち合わせ、学校の教師との打ち合わせの時間も確保しなければならなかった。学校としては講師料や交通費等も出せず、完全なボランティア活動となっている。ファイナンシャルプランナーの方の確保や学習内容を含めて、地域在住のファイナンシャルプランナーの青山久仁子氏には大きなご尽力をいただいている。

本年度は、14名のファイナンシャルプランナーの方に講師委嘱を行った。

2つには、教育課程への定着である。どんなすばらしい内容でも1年だけの実践では、意味がない。中学校3年間の学習の中で、ひとつひとつの段階が細切れではなく、テーマにそって連続的に同じようなサイクルを繰り返し、しかも学年が上がるごとに学習内容をステップアップし、「生きる力」につながるように考えなければならない。総合的な学習の時間のテーマとして「キャリア教育」を設定し、1年生で「仕事を知る」、2年生で「仕事を体験する」、3年生で「自らの仕事(進路)を考える」こととしている。2年生の「仕事を体験する」内容として、職場体験を実施しているが、働くことの意義を学ぶとともに、働くことによって報酬を得ることの意味を考え、お金の価値を実感し大切に扱おうとする態度を養うため、2年生で「金銭(マネー)教育」を実施することとした。

4. 実践内容

(1) 学習の流れ

本内容は、総合的な学習の時間としての「キャリア教育」を実施することと連携して「金銭（マネー）教育」を行った成果である。

昨年度の指導計画は、次のようであった。

- | | |
|-------|--|
| ガイダンス | ・今年の「金銭（マネー）教育」の概要をプリントで説明。
・校外の様々な場で活躍中の方々から講義を受けていくことを伝える。 |
| 第1回—— | ・お金についての「意識調査」
・お金を使うことの難しさに気づかせる。 |
| 第2回—— | ・お金ができた訳を知る。
・物の値段はどうして決まるのか、考えてみる。
・税金って誰が納めているかを知る。
・お金を使う基準は？
・中学生のお小遣い？ |
| 第3回—— | ・中学生と社会のつながりを考える。
・モノの値段が決まる仕組みを考える。 |
| 第4回—— | ・世界のお金に触れてみる。
・為替って何かを知る。
・外国のお金が日本で使えるか。 |
| 第5回—— | 公開講座 土曜1日参観
「お金を貯める」
・資金、金利、利回り
・リスクとリターン
・お金を貯めるのに必要な時間は？ |
| 第6回—— | 「為替と経済」プレゼンテーション
・為替とモノの値段がどんな風につながっているかをグループで考え発表。
・買い物を考える。
・お金を借りるってどんなこと。
・お金の使い方を考える。 |
| 第7回—— | ・買い物をして、満足したものと後悔したものから、後悔したことの共通点を考える。
・値段の設定
・プレゼンテーション、セールストークを考える。
・広告・CMとの付き合い方を考える。 |
| 第8回—— | 「消費者契約法」
・買い物をして、後悔したときの自分の行動を振り返り、原因を考える。
・消費者契約法を知り、賢い消費者になる力をつける。 |

(2) 学習に向けて (生徒)

生徒に向けてのガイダンスで、「金銭（マネー）教育」への取り組みを説明した内容である。生徒自身もはじめての外部講師との出会いであり、緊張感もあり、どのように対応してよいか身構えている部分もあった。これからの学習のことを考え、良い雰囲気ですべて「金銭（マネー）教育」が始められるように指導を行った。

通信からの抜粋

年8回にわたって「金銭（マネー）教育」の時間を設けます。近府県で様々な仕事をしながら「ファイナンシャルプランナー」の資格をもって活動されている14人の方々に来校いただき、お金の大切さ、お金の価値、お金によるトラブルや保険の話、そしてお金や世の中の仕組みにまで実習をおりませた講義を受講することになります。

外国の紙幣なども手にできるかも知れません。

「ワクワク」する内容になると思います。10月23日の土曜参観の日もこの取り組みの公開講座になります。ご家庭の方々も子どもたちとともに楽しんで参加していただけたと考えています。

みなさんに大切にしてもらいたいことを確認しておきたいと思います。

《大切にしてほしいこと》

- ◎お金（マネー）の学習をします。これからの人生を生きていく上で大切なものの1つです。心を素直にしてしっかりと学習しましょう。
- ◎ファイナンシャルプランナーの方々は、金融（お金）のプロです。
- ◎講師の人たちは別の仕事を持ちながら、休日を使い、三笠中の先生方と連絡を取り合って教える内容を検討し、一生懸命話し方を工夫され、準備されています。話される内容を精一杯自分のものにしてください。
- ◎あいさつをしっかりとしましょう。
- ◎講師の方々も名札をつけてこられます。1年間に8回しか君たちとは会えません、君たちも必ず名札をきちんとつけましょう。
- ◎恥ずかしがらずに何でも元気に発表したり、質問したりして下さい。
- ◎ポートフォリオファイルに資料を必ず入れていき、出された課題は必ずやりましょう。

(3) 学習に向けて（担任）

生徒にとってもはじめての外部講師との出会いではあるが、教師にとっても外部講師との学習には緊張感もあり、どのように対応してよいか手探りの部分もあった。

また、これからの学習を講師に任せきりになってしまいがちな部分もあった。

このことを考え、次のような確認を行った。

「金銭（マネー）教育」の注意点や配慮

- ・金融のプロであっても、子どもへの語りかけに不慣れな方も。温かい目で。
- ・毎時間の学習の前後に、打ち合わせと反省会を持ちます。計画に従って進めますが、急な変更にも対応できるようにしてください。
- ・先生方も講師の方と協力をしあって学習を進めてください。生徒の反応が硬い場合、計画になくても、先生方で学習を進めることが必要になる場合も。また、急に意見を求められたり、質問がくることもあります。
- ・生徒に名札を必ずつけさせ、座席表の準備も。
- ・教師も所定の名札を使用。講師の方々にも名札をつけてもらう。
- ・チョークを教室に準備（白2本、色チョークは適当に）。
- ・教材入れと準備物については黄色のカゴを用意。掲示物用マグネット、マジック等が入っています。
- ・社会人として挨拶をととても大切にしておられます。ハキハキと挨拶することと、起立、礼などもきちんとするように呼びかける。
- ・マスコミ取材もある。教室の環境にも配慮を。
- ・担任は校長室で講師と打ち合わせ、講師を教室まで案内。
- ・クラスによって進め方は多少異なることもある。
- ・次回までの課題が出ることもある。ポートフォリオに資料等を入れ、必ず課題をしてくることと、忘れ物がないように注意を喚起する。
- ・班活動を取り入れる場面も出てくる。継続した活動中に班替えをした場合は、元の班に戻して活動を続ける。

5. おわりに

「お金が一番大切ではない」「お金に振り回されるな」などの意見がある。確かに「お金を儲ける」ことが豊かな人生や生き甲斐のある人生を送ることにつながるわけではないと思う。しかし、お金なしでは生きていくことができないことも事実である。「金銭（マネー）教育」とは、自らの人生をどのように生きていくかを考える教育であり、人生を設計する教育であると考えられる。

現実には、様々な金銭トラブルも起こっている。義務教育を終えれば、アルバイトをする人（収入）、バイクや車に乗る人（保険）など、すぐに『お金』に対して個人で対応しなければならなくなってくる。義務教育を終えたどの生徒にも豊かな将来への設計ができる力の育成を目指すことは、積年の課題であり、近年急に現れた課題ではないのかもしれない。ただ、社会の大きな変化の中にあつて、的確・迅速な対応が求められている。

課題がわかっても、解決がなかなか図れないのは、案外教師の意識の問題の部分が多いのではないかと。これまでの指導だけではなかなか通用せず、価値観が多様化する中で子どもを納得させるような説明や個に応じた指導など、どのように取り組めばよいのか有効な手だてをなかなか見いだせないために、最初の

一歩が踏み出せない。また、実践することが出来たとしてもやることによって生徒にどのように反映していくのかわからないという「とまどい」があることも事実である。

「金銭（マネー）教育」に対応することは、これまで以上に時間と労力がかかることであろう。だからといって後込みしては、中学校教育の意義、果たすべき役割を遂行したことにはならない。学校だけで、教師だけでやろうと考えないで、子どもの力、保護者の力、地域の力など多くの力に支えられてこそ、生徒の自立、自己実現を支え、自らの人生を設計する力を養う「金銭（マネー）教育」の定着が実現するのではないか。現状は厳しいが、確かな歩みを重ねていきたいと考える。

2005年マネー教育活動計画

1 学期	2 学期	3 学期
1 回目	4 回目	6 回目
2 回目	5 回目	7 回目
3 回目		8 回目
目的	目的	目的
<ul style="list-style-type: none"> ●毎日の生活が保護者の収入や税金と密接に結びついていることに気付かせる ●お小遣いの金額からモノの値段が決まる仕組みを学ばせる ○中学生と社会のつながり ○モノの値段が決まる仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●モノの値段は外国と日本のお金の価値でも変わること気付かせる ○為替と経済 	<ul style="list-style-type: none"> ●お金を使う＝モノやサービスを買うということに気付かせ、消費者としての生きる力を育てる ○広告との付き合い方 ○消費者契約法
流れ	流れ	流れ
Q. 学校での教育費っていくら？	Q. 外国のお金ってどんなものがある？	Q. お小遣いで買ったもので後悔したことは？
教育にかかる費用を知り、お金の出所を考える	外国のお金に興味を持たせる	満足したものと後悔したものから、後悔したものの（失敗）の共通点を探る
Q. 税金って誰が納めてるの？	Q. 外国のお金って日本で使えるの？	Q. 後悔した時の原因は？
働くことの重要性和保護者のありがたさに気付かせる	外貨を日本で使う、円を外国で使う場合は交換が必要なこと気付かせる	買い物で後悔したときの自分の行動を振り返ると同時に、原因を考える
Q. お小遣いはいくらもらっている？何に使っているの？	Q. 交換ってどうやってするの？	Q. 今後買い物で気をつけることは？
お小遣いについて考えさせる	ドルと円の交換について考えさせる（為替）	広告・CMとの付き合い方を考える
Q. 中学生のお小遣いが 5,000 円は多いか？少ないか？	Q. 為替とモノの値段ってどんな風につながってるの？	Q. 買ったけど後悔した場合は？
2 グループに分かれディベート。お小遣いは金額でなく、モノを買うのに必要なお金が充分かどうかで満足度が決まることに気付かせる	例についてグループで考える。発表	消費者契約法を知り、賢い消費者になる力をつける
Q. モノの値段ってどうやって決まるの？		
例を出して、モノの値段の決め方を考えさせる。モノの値段の決まる仕組み（需要と供給）に気付かせる		

第2回 カリキュラム案

	小テーマ	目的	使用教材(テキスト)
導入	お小遣いの使い方を班で話し合いながら考える。 全体の流れの中で、消費対象に「必要な物」「欲しい物」の分類があることに気づかせる。		
1	何に使うのか?	・実際の使い方だけでなく願望も含めて生活に密着した話を引き出す。	テキスト p28 ワークシート Q1
2	お金を使って良かったこと、後悔したこと	・お金を使って良かったこと(満足)、後悔したこと(反省)を挙げ、効果的なお金の使い方について考えさせる。	テキスト p29 ワークシート Q2
3	賢くお金を使うには……	・お小遣いが無限にあるわけではないので、お金を使うときにどのように使うか考えることの大切さに気づかせる。 ・買いたいものを我慢すること、目的のためにお金を貯めることの大切さを考える。	テキスト p31～ 35 ワークシート Q3
まとめ	<次回予告> 物の値段の決まり方 感想記入 → ワークシート回収		

2005年度 マネー講座 ワークシート2

～ 消費者としての私たち ～

組 氏名 _____

1 どんなふうにおこづかいを使いますか? (自由に書いてみましょう)

2 お金を使って良かったこと、後悔したこと

良かったこと

後悔したこと

3 賢くお金を使うには……

4 今日の授業で心に残ったことは何ですか?

2005年度 マネー講座 ワークシート4

組 氏名 _____

1 日本の通貨と世界の通貨

☆通貨って? 流通貨幣(お金)の略称で、国家などによって価値を保証された決済(売買取引を完了すること)のための価値交換単位です。

☆日本の通貨 「円 (JPY)」

☆世界の通貨の代表例

通貨の単位	国の名前	通貨の単位	国の名前
ドル (USD)		ドル (CAD)	
ドル (AUD)		ドル (NZD)	
ユーロ (EUR) *観光地で使用しています。			
ポンド (GBP)		ルーブル (RUB)	
元 (CNY)		ウォン (KRW)	
バーツ (THB)		ルピア (IDR)	
クローネ (DEK)		ペソ (MXN)	

2 外国為替について

☆外国為替って? 外為(がいため)とも略されます。通貨が異なる国際間の貸借関係を、現金を送付しないで、手形や小切手などを使って、指替決済する方法です。銀行を使っての送金も可能です。この時の通貨間の交換比率を「外国為替相場」と言います。

3 円高・ドル安と円安・ドル高

☆円高とは? 他の通貨と比べて円の価値が() ことです。

☆円安とは? 他の通貨と比べて円の価値が() ことです。

(例)

昨日の相場が「1ドル 110円」だとすると……

①今日の相場が「1ドル 100円」なら 「円高・ドル安」

②今日の相場が「1ドル 120円」なら 「円安・ドル高」

☆「1ドル 110円 → 120円」になって、どうして円安なの?

→ 円が10円高くなったのではなく、1ドルを買うのに余分に10円必要になった。

→ ドルの立場が円より強くなった。(円の立場が弱くなった)

→ 円で「ドル」を買うのが「高い」! = 「ドル高」

組 氏名 _____

◆ 今日の授業で心に残ったことは何ですか?

「次回の授業も頑張らしましょう!」

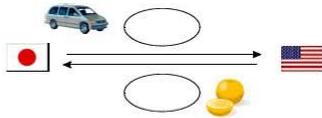
2005年度 マネー講座 ワークシート5

組 氏名 _____

組 氏名 _____

1 貿易（輸出と輸入）について

- ☆貿易って？ 国と国との間で、品物を取引することです。
- ☆日本から外国へ品物を送り出すことを「輸出」といい、外国から日本へ品物を受け入れることを「輸入」といいます。



(前回の復習応用)

- ☆「円高・ドル安」の時に有利なのは？ (輸出 ・ 輸入)
- ☆「円安・ドル高」の時に有利なのは？ (輸出 ・ 輸入)

2 TTSとTTB

- ☆TTSって？ 銀行が顧客に対して外貨を売る（円を外貨に交換する）時に使用される為替レート
- ☆TTBって？ 銀行が顧客から外貨を買い取る（外貨を円に交換する）時に使用される為替レート
- ☆外貨預金・トラベラースチェック・外貨の送金などでTTS&TTBが使われます。

(例題)

わたしたちにとって、有利なTTSは(① ・ ②)です。また、有利なTTBは(③ ・ ④)になります。

- ① TTS 117円 ② TTS 122円
- ③ TTB 115円 ④ TTB 120円

3 演習問題にトライしよう!

(問題1)

2年組の〇〇さんは、アメリカ旅行に行く前にお小遣い1万円をドルに両替しようと思っています。次のページの①～④は、それぞれ何ドルになりますか？

(問題2)

問題1で両替したドルを仮に使わなかったとして、帰国後円に両替した場合、次のページの①～④は、それぞれ何円になりますか？

- *小数点以下は四捨五入すること!
- *手数料はレートに含まれています!

(解答欄)

	TTS	TTB	問題1の答え	問題2の答え
①	112	105	ドル	円
②	120	125	ドル	円
③	107	118	ドル	円
④	105	98	ドル	円
⑤	124	115	ドル	円
⑥	118	125	ドル	円

(計算スペース)

おつかれさまでした!

またね!

◆ 今日の授業で心に残ったことは何ですか?

「次回の授業は3学期ですが、みなさんにお会いできる日をお楽しみにしています!」

2005年 マネー講座 ワークシート6

組 氏名 _____

1 次のうち、トラブルになる可能性のあるものに○印をつけて下さい。

- ア) クレジットカードで買い物をした ()
- イ) 必ず志望校に合格すると言われたので勧められた教材を買った ()
- ウ) "Hello" のタイトルでメールが届いたので、送信者が誰か分からなかったけど返信した ()
- エ) 前からとても欲しかったゲームソフトが安かったのでその場でお小遣いから買った ()
- オ) 友達と繁華街に買い物に行ったとき、「ゲームソフトの試作をしているので協力して欲しい!」と声をかけられた。勇気もあったので、友達と一緒に帰って行った ()



2 クーリングオフについて

消費者が勧誘により契約の申込をした場合、一定条件により契約の撤回や解除が出来ることを認めた制度。期間内に書面で申し込み撤回の意思を通知する必要がある。

クーリングオフが出来る期間

商法・取引		クーリングオフ期間
店頭販売		8日間
キッズセールス	(皆で買を勧められた)	8日間
アポイントメントセールス	(電話・郵便等で呼び出された)	8日間
電販販売(SF販売)		8日間
電話勧誘販売		8日間
エステ・学習塾・家庭教師 パソコン教室・花嫁紹介所	(家庭教師にはファックス・テレビ電話 特設 等含む)	8日間 ※9日目～申込解除できる
モニタ・販売		8日間
ネガティブオプション	(勝手に商品で送ってきた)	14日間(または7日間)
店舗販売		クーリングオフ制度なし
通信販売	(雑誌・カタログ・チラシ・ダイレクトメール・テレビ・ゲーム・インターネットなどの広告を基に勧誘)	クーリングオフ制度なし
出会い系サイト 出会い系サイト 出会い系サイト		クーリングオフ制度なし

3 日常生活の中での契約について考えてみよう

<質問> 次の中で「契約」にあてはまらないものはどれですか? 番号に○をつけなさい。

①ハンバーガーを買う



②アパートを借りる

③無人契約機でお金を借りる

④レンタルショップでCDやDVDを借りる

⑤友達とサッカーする約束をした



⑥テーマパークに入場する

⑦おじいさんが亡くなったので、お父さんがその財産を相続した

⑧電車に乗る



⑨コインロッカーに荷物を預ける

⑩友達の家で手料理をご馳走してもらう

◆ 今日の授業で心に残ったことは何ですか?
